

第1分科会（地方創生・地域コミュニティ・市民活動・行財政改革）意見まとめ

●企業誘致（産業振興・雇用促進）

- ・ 商業施設や他地域の企業が市内に進出してほしい。

●交流・移住促進

- ・ 市内外に限らず、人と人が交流できる機会を増やす。
- ・ 市外の人が市内に家を建てやすい環境が必要である。
- ・ イベントへの参加や移住など、周りの地域から若い世代を市に呼び込む。
- ・ 若い人（子育て世帯も含む）が蓮田市に住みたくなるような政策を充実する。

●多世代交流の推進

- ・ 高齢者が子どもと接したり、外に出て活動する機会を増やす。
- ・ お年寄りの知恵や経験を生かせる仕組みをつくる。
- ・ おまつりやイベントにもっと子育て世代が参加するようになってほしい。

●市民参加の推進

- ・ 蓮田の郷土品やグルメなどを作り上げる取組を住民参加で実施する。
- ・ 若手世代がもっと市政や取組に興味を持ち、参加意識を高めることが必要である。
- ・ 自治会のメリットを整理するなどして、自治会のあり方を見直した方がよい。
- ・ 住民自身が自主的にまちづくりを考え、関わっていくようなまちにしたい。
- ・ 高齢者をはじめ、誰もが気軽に挨拶できるような、地域住民同士が交流できる環境づくりを進める。

●情報発信の多様化

- ・ 市から発信する情報（コンテンツ）の充実や紙以外のメディア（ホームページやメール）活用を進める。

●行政改革

- ・ 少ない予算のなかでも、効率よく、質の高い使い方を実現してほしい。

○第2分科会へ

- 子育ての環境を充実させる。
- 小中一貫教育など、魅力ある学校教育を実現させる。
- 通学路や教育機関の建物など学校教育のハード面の整備を進める。

○第3分科会へ

- 交通機関の利便性向上など、都市基盤や生活環境の充実を進める。

第2分科会（福祉・医療・教育）意見まとめ

●バス交通の充実（高齢者にやさしいまち）

- ・ 買い物や文化会館へ行くためのコミュニティバス、市施設等を循環するシャトルバスがほしい。
- ・ 新しくつくるのではなく、今あるけんちゃんバスなどを活用し、価格を安くするなど使い勝手を良くする。

●高齢者が元気に暮らせるまちづくりの推進

- ・ 高齢者も元気でいられるように、運動ができる環境整備と施策を講じる。

●予防事業・医療体制の充実

- ・ 市民一人ひとりにかかりつけの医者があると安心できる。
- ・ 健康体操教室や栄養指導等の病気予防の施策を充実させることにより、医療費が抑えられる。
- ・ 健康診査やがん検診をもっと多くの人が利用するよう PR する。

●子育て施策の充実（多世代交流の推進）

- ・ 子育て世代と高齢者などいろいろな年代の人たちが交流し、子育ての助言などができるようなコミュニティができるとよい。
- ・ 空き家や小学校の空き教室を活用して、子育て支援の場や児童センター機能をもたせ、子育て世代と高齢者が交流し合える場所をつくる。
- ・ 子育て支援の場を増やし、車を使わずベビーカーを押して行けるようにする。
- ・ 子どもが安全に遊べるように公園などの整備を進める。
- ・ 子育ての環境を充実させる。
- ・ 子育てがしやすい施策を充実させる。

●教育環境の充実

- ・ 図書館に新刊を入れ図書の実数を増やし、若い人も利用しやすくする。
- ・ 通学路の整備を切実であり、PTA と協力して進める。
- ・ 公共施設のトイレを和式から洋式にするなど、設備を改善する。
- ・ 小中一貫教育など、魅力ある学校教育を実現させる。
- ・ 通学路や教育機関の建物など学校教育のハード面の整備を進める。

●障がい者支援の充実

- ・ 在宅障害者が地域で安心して市民と共生でき、気軽に相談や話合いができる福祉センターのような施設をつくる。

○第3分科会へ

- 元荒川や畑など蓮田市の自然を生かして人を呼び込む。
- 歩きたばこは小さな子どもに危険である。また、健康被害だけでなく吸殻によりまちの美化が損なわれる。

第3分科会（まちづくり・産業・環境・防災）意見まとめ

●蓮田市の今ある資源を見直し、生かしたまちづくり

- ・ 他地域を意識しすぎないで、蓮田市にいまある資源を見直して強みにしていくまちづくりを進める。
- ・ 元荒川や畑など蓮田市の自然を生かして人を呼び込む。

●地域別の特色を生かしたまちづくり

- ・ 市内の住宅地や工業団地などの各エリアの特色を生かして、強みをのばすまちづくりを進める。
- ・ 駅周辺だけでなく、その他の地区にも拠点を設置して、交流や連携、情報発信ができるように整備する。
- ・ 高齢者が駅周辺に住み、若い世帯が駅から離れた場所に安く住める仕組みをつくってほしい。
- ・ 蓮田サービスエリアに地産直売所を設置するなど、サービスエリアの充実化とPRを強化する。

●防犯・防災施策の充実

- ・ 警察署があるとよい。
- ・ 自主防災組織を結成する自治会を増やす。
- ・ 個人レベルで防災意識を強く持てるよう、防災意識の向上に市全体で取り組む。

●交通利便性の向上・生活環境の整備

- ・ 交通機関の利便性向上など、都市基盤や生活環境の充実を進める。
- ・ 道路、河川の整備が必要。特に学校周辺や通学路に広い歩道スペースをつくる。
- ・ 外灯が無い道をなくして、夜道も安全に歩ける歩道整備を進める。

●農業施策の充実

- ・ 農業後継者対策や休耕田、休耕畑の有効利用など、農業施策を充実させる。

●環境教育推進・意識の向上

- ・ 歩きたばこは小さな子どもに危険である。また、健康被害だけでなく吸殻によりまちの美化が損なわれる。

○第1分科会へ

- 住民自身が自主的にまちづくりを考え、関わっていくようなまちにしたい。
- 高齢者をはじめ、誰もが気軽に挨拶できるような、地域住民同士が交流できる環境づくりを進める。
- 若い人（子育て世帯も含む）が蓮田市に住みたくなるような政策を充実する。
- 市内外に限らず、人と人との交流できる機会を増やす。

○第2分科会へ

- 子育てがしやすい施策を充実させる。
- 高齢者も元気でいられるように、運動ができる環境整備と施策を講じる。